

週間漁海況情報—第3号

平成27年1月19日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

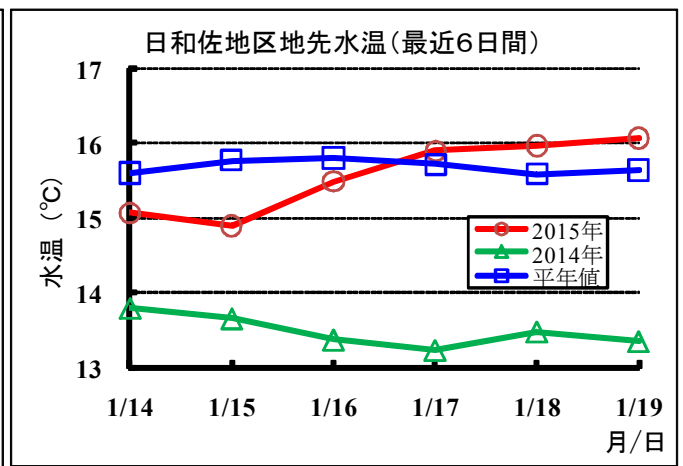
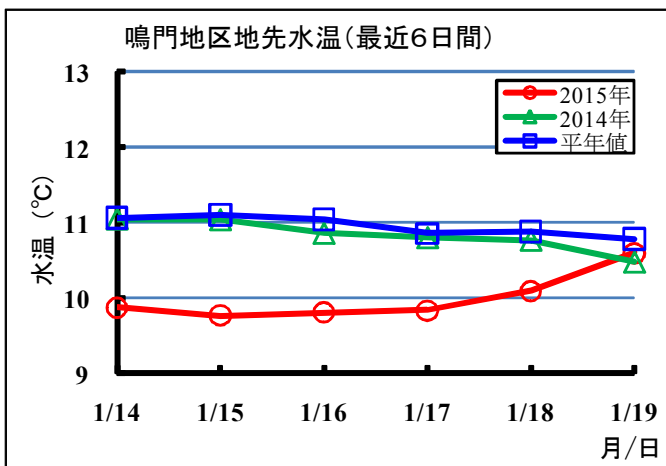
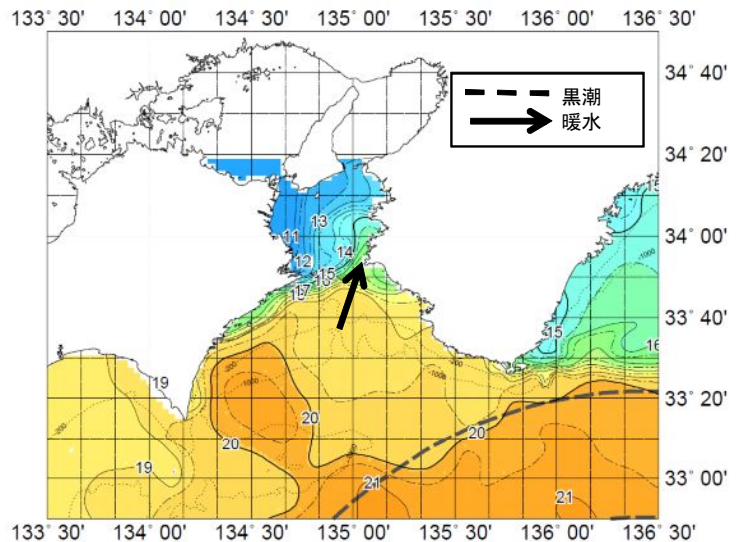
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.1.19）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、かなり離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は19～21℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道では10～15℃台、海部沿岸は13～19℃台である。紀伊水道外域では室戸岬の東側に20℃台の暖水塊がある。紀伊水道では和歌山県側に弱い暖水流入がある。



地先水温: 最近6日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の9.8～10.6℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の14.9～16.1℃、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の12.9～17.5℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並: ±0.49以下, やや高め(やや低め): ±0.50～1.49, 高め(低め): ±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め): ±2.50以上

* 平年値 鳴門地区: 1981～2010年の平均値、日和佐地区: 1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.3トン（1日1隻あたり12kg）、大主体にサバフグが0.4トン（同22kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でメジナが0.5トン（同18kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でアオリイカが0.5トン（同7kg）、カタクチイワシが1.3トン（同47kg）、小主体にマサバが2.1トン（同175kg）、かます類が0.5トン（同19kg）、メジナが0.7トン（同33kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で中・小主体にカワハギが0.3トン（同56kg）、中主体にハマチが0.6トン（同94kg）、中主体にスルメイカが0.9トン（同157kg）、マメ主体にマアジが0.4トン（同68kg）、小主体にマルアジが0.4トン（同66kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2015年1月12日～2015年1月18日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	キダイ	21	257	12	大主体	
		サバフグ	19	412	22	大主体	
建網		メジナ	28	497	18		
		小型定置網	アオリイカ	68	484	7	
カタクチイワシ			27	1,282	47		
マサバ			12	2,102	175	小主体	
かます類			25	468	19		
メジナ			23	749	33		
大型定置網			カワハギ	6	335	56	中・小主体
			ハマチ	6	562	94	中主体
		スルメイカ	6	945	157	中主体	
		マアジ	6	409	68	マメ主体	
		マルアジ	6	395	66	小主体	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の1月13日～1月19日には、海部沿岸で、延縄で大主体にキダイが0.5トン、カワハギが0.6トン、大主体にサバフグが0.8トン、建網で中主体にカサゴが0.2トン、小型定置網で、カタクチイワシが5.0トン、アオリイカが0.5トン、大型定置網で、小主体にサバ類が0.2トン、小主体にタチウオが0.3トン、中主体にスルメイカが0.2トン、小主体にケンサキイカが0.2トン、釣りで、大・中主体にタチウオが0.2トン、かごで、小主体にウツボ類が0.2トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「かなり離岸」、潮岬沖において「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の10℃台、日和佐地先で「平年並」の14～15℃台で推移する見込み。